

(当方)

- ・望来寿の家は昭和62年に建設され、今年で築34年となっています。延べ床面積は154.71㎡、木造の平屋建ての建物になります。広いホールがあり、カラオケや囲碁等といったレクリエーションを楽しむ施設として長年利用されてきた。施設の花壇についても花いっぱい運動の参加者により、整備されてきました。

平成17年の合併後も高齢者いきがい施設として引き続き利用され、現在に至っています。管理は望来名木会が長年引き受けてきました。しかし、今年の5月に名木会が解散となり、6月から休止の状態が続いています。他の団体に管理を受けてくれないか、元会長を含め相談してきたが、心身面から難しいのではないかと話しを受けています。

望来寿の家はまだ使用することはできるが、屋根・外装が老朽化により修繕が必要な状態となっており、修繕するのに400万円程度かかる見込みとなっています。望来寿の家の利用実態を見ると、昨年度は新型コロナウイルスの影響を受け8日の利用、令和元年度は32日の利用となっています。望来地区の人口が300人で、今後も地域の状況から判断しても利用頻度が高まる可能性が低く、これまでどおりに地域の方が管理するのは難しいと考えています。

6月24日の北海道新聞に「望来寿の家休館」という記事が出た後、市に施設を買い取りたいという話がありました。市内の業者から除雪センターとして利用したいとのことだった。廃墟となっている旧保育所も含めて購入して、旧ゲートボール場も合わせて整備したいとのことでした。除雪センターとして利用する場合は、施設の廃止を行い行政財産から普通財産に変更する必要があります。除雪センターとなったら、休止している施設の活用・除雪の拠点が地元にあることにメリットはあるのではないかと考えております。また、施設を売却した後に、地域で集まることになる場合望来コミュニティセンターを使用することもできます。町内会や高齢者クラブで利用する場合は、社会福祉団体登録申請書を提出していただければ、半額の利用料金となります。

ここまで、望来寿の家の概要と新しい活用方法について、望来コミュニティセンターを集会所として使う方法もご提案させていただきました。ここからは自由に意見をお伺いしたいとおもいますので、意見のある方は挙手をお願いいたします。

(市民)

今回の話は、除雪センターありきの話となるのか？

(当方)

除雪センターありきではなく、除雪センターとして活用したいと購入の意思がある企業がでてきたため、その説明を行ったところです。

(市民)

地元で寿の家が必要だと感じるのであれば、管理者を探さないといけない。しかし説明のなかで、管理者がいなくていわれるのは違うのではないかと。自分が管理するとなると考えたときに、5年とか経過した際には継続できるのかの不安は確かにある。管理するとなれば、後期高齢者も含めて管理することになることから、心身的な辛さもある。

(当方)

厚田本村にある、厚田憩の家も後継者がいない。

時間をかけて解決していくべき問題だと考えています。

(市民)

みなくるの減免申請をしたが、これも本意ではない。本当は寿の家を利用したい。

高齢化社会において、高齢者の生きがい施設となっている望来寿の家を除雪センターとして利用するなんて論外じゃないか。寿の家の利用頻度が少ないことから、あそぼう会を設立した。自らの意思で参加されるかたが延べ22名もいた。

しかし、今までの管理者だと非常に使い勝手が悪かった。

(市民)

望来に引っ越してきてから1年半が経過するが、高齢化率が望来地区は非常に高く、人とのコミュニケーションがとれるような場所が非常に少ない。市としては、非効率的な運営にはなるが、こういった施設が市民の為を考えると、必要ではないか。

400万円の見積もりとあったが、何社から見積もりを求めたのか。

答えありきの説明会ではなく、ゼロベースからの話をする必要があるのではないか。

寿の家を廃止し、望来コミセンを代替施設として利用させるのであれば、半額ではなく全額免除にするべきではないのか。(望来寿の家利用料なし)

(当方)

見積もりは1社。市の建築担当課に伺い金額を確認した。

コミセンの利用料については、所管が違うことからこの場での回答を申し上げることはできない。

(市民)

今まで、有効に活用していたのにもかかわらず、休止になったことに伴い急に廃止するというのはひどすぎないか。

そもそも、残す考えがあるのか？

(当方)

急に廃止というわけではなく、いま購入の意思をもつ企業があることを説明させていただいた。

施設存続だけを考えるのではなく、代替案も含めて地元の方との協議を行いたく、この場を開催させていただいている。

(市民)

説明の順序が逆じゃないか。施設が休止しています→今後施設を使うかどうかを協議してから、除雪センターの話になるべきではないか。

望来コミセンは使い勝手が非常に悪いため、使いたくない。

管理人がいないと説明があったが、だれがそのようなことを発言したのか。

(当方)

自治会長の方に管理を行っていただけの人がいないかを確認したところ、厳しいのではないかとのお返事をいただいた。管理を行うとなると、一人の方に責任が重くのしかかることも懸念しているところです。

5月に急な休止となり、新型コロナウイルスの影響により協議する場が開けないうちに、購入したいという企業が出てきてしまったことから、このような説明をさせていただいたところです。このような話があるなかで、住民の方の意見をお伺いして、今後の施設の在り方について検討していくべきだと考えています。老朽化・管理人による問題、除雪センターとして利用したいという話を含め、施設存続の是非について伺いたいと思います。

(市民)

後期高齢者で免許を返還し、町内会単位のコミュニケーションが少ないので、コミュニケーションがとれるこの施設を残してほしいのが本音です。

管理し施設を継続していくとなった場合には、施設の修繕を行ってくれるのか？

(当方)

他の公共施設と優先順位をつけながら、公共施設の修繕を行っていることからこの場では回答することはできません。

(市民)

屋根等の修繕の実施については、議員が行うと伺っているがどうか。

今年度は、地元でどのようにしていくか協議をする時間が欲しい。

(当方)

屋根等の修繕については、今年度実施する予定はありません。予算も今年度ついていません。

協議の時間は、ある程度必要だと考えておりますが、購入を希望している企業にも回答する必要があることから、今年 or 今年度中には結論を出していきたいと思っております。

(市民)

高齢者以外の利用はできないのか。

(当方)

原則使用不可です。

(市民)

過疎地は、花川地区などと比較して非常に不便な場所となっています。過疎地こそ手厚く市からの支援をお願いしたいと思います。

(当方)

他にご意見などはございませんか。

地元の住民の方で一度お話いただいた後に、また協議をさせていただきたいと思えます。

本日はお忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。